

第 98 回二科展 巡回展（大阪展）



▲大阪市立美術館

■ 二科巡回大阪展は 10 月 30 日～11 月 10 日まで大阪天王寺公園内の大阪市立美術館で開催しました。出品数は絵画 199 点、彫刻 15 点、デザイン 205 点、写真 224 点の総数 643 点の展示。（巡回作品並びに大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県の 4 府県の出品作品からなります。）

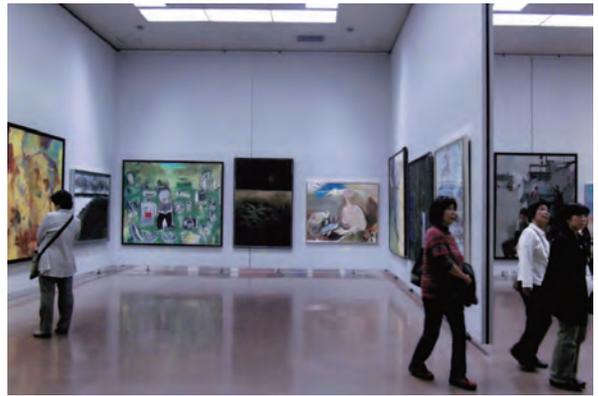
■ 二科大阪展は大正 10 年、第 8 回展に始まり第 36 回展から 62 年にわたり産経新聞社との共催により展開しています。

絵画部、彫刻部、デザイン部、写真部の会員を中心に会友、出品者の協力のもと、今後につなげる大阪展独自の試みとして中学生以下の子供を対象とした「こども二科展」、デザイン部による「ポストカードデザイン大賞展」も併催し来場者に二科展に興味をもっていただけるよう努めています



▲こども二科展会場

■ 絵画部では会期中の行事として二科展に出品をめざす一般の方への小作品持参によるワンポイントアドバイスの日をもうけ今回は11名の参加があり会員がそれぞれに対応しました。10年程続いているうちで入選者数名が常連出品者となり、受賞し会友に推挙された方も2名います。今後も続け、二科展出品者増につながればと考えています。



▲ 絵画展示会場

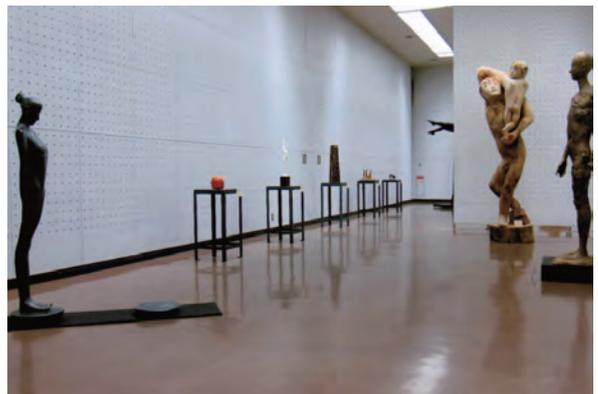


◀ ワンポイントアドバイス風景

■ 彫刻部展示状況彫刻部の展示点数は15点。大阪関係点数は7点（会員2・会友1・一般4）でした。展示会場は作品同士が詰むことなくゆったりとした空間を確保でき、鑑賞しやすくなっていったと思います。

近年、出品者が増えないなか、本多紀朗君の会友推挙と吉田朋世さんの特選受賞は誠に喜ばしい事で、二科大阪彫刻部にとってはひとつの明るい希望であり、この新しい作家を育ててゆかなければならないと感じます。大阪展には、産経新聞社賞という賞があり、今回は岩本雅晴さんが受賞しました。

安易に出品者を増やせない状況でも、点数が少なくとも見応えがある様、作品の一層の充実を図る努力が求められているものと思います。



▼ 彫刻展示会場

■ デザイン部展示については例年とあまり変わるところは有りません。

全国巡回作品 154 点（一般 90 点・会友 20 点・会員 44 点）の計 205 点を展示しました。

また、デザイン部では併設展として第 11 回ポストカードデザイン大賞展をデザイン部のコーナーに展示しました。



▲デザイン展示会場

毎年ポストカードデザイン大賞と題し、一般部門と学生部門とに分けて募集。今年
は約 2,000 点の応募の中から 200 点（内受賞は 2 部門合わせて 14 点）を選出し展
示しました。このポストカード展は、大阪展の観客動員もさる事ながら、サイズが小
さく比較的取り組み易い、展示中も取らないので数多く展示できるという利点を活か



し、少しでも二科展の理解度を深め、出品意欲を高めるためのデモンストレーションとして併設しました。徐々にではありますが、本展への出品者も見られるようになり、今後も出品者増に繋がるよう努力して行きたいと考えています。

◀ポストカードデザイン大賞展会場

■ 毎年写真部では 224 点の作品を展示しています。

全国 1030 名の入選者の中より選ばれた入賞作が約 40 点と関西地区の大阪、兵庫、奈良、和歌山の入選作、関西地区二府四県会員会友作、全国の会員作の中より抽出された作品などで構成されています。

展示内容は写真界の中にあってもハイレベルの作品群であると自負しています。

多種多様なモチーフが自在に表現されており、感動して頂けるものと思っています。

担当 山本 博之



▲写真展示会場